

三草会札幌看護専門学校

令和五年度社会人入学試験問題

国語総合

令和四年十一月十三日(日)

三草会札幌看護専門学校 令和五年度社会人入学試験問題用紙(国語総合)

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「批判」という単語に対して、あなたはどのようなイメージを抱いていますか？ほとんどの人は、あまりよくないイメージを持っていると思います。④できればこの単語に出会うシーンは避けたい、誰からも批判されたくないと思っっているでしょう。

批判という単語をさまざまな辞書で調べてみると、「物事の①デキヒを判断すること」「欠点を指摘して、それを B として論じること」「行為や作品の価値を判定すること」などという意味があるとわかります。

自分自身に対して、「ダメ出しされている」という感覚に②オチイるから、批判されたくないと考えている人も多いのではないかと思います。しかし、これは「批判」と「非難」が③コンドウされているようにも思えます。 C によってあなたの欠点を D されることは、たしかに「ダメ出し」なのかもしれません。しかしそれは、欠点を直せばよくなるという⑥アドバイスでもあります。つまり「批判」されるというのは、自分に対して建設的な意見をいただいている状態を指すのです。

一方の「非難」は、欠点を取り上げて責め立てるという意味なので、ただダメ出しだけをされることです。「非難」は、欠点を指摘するだけで、それをどう活かせばいいかというヒントのような意見をいただいていない状態ということです。でも「批判」は今後にとっていいヒントとなるものです。それを知れば、怖がったり避けたりする必要はなくなります。

ジョン・C・マクスウェルは、批判に対して、次の10の視点を持つことを提言しています。

- ① 「いい批判」と「中傷」を見分ける
- ② 深刻に受け止めすぎない
- ③ 尊敬する人の批判にはじっくり耳を傾ける
- ④ 感情的にならない
- ⑤ 志を確認
- ⑥ 「休む時間」を取る
- ⑦ 「一人の批判」を「全体の意見」と勘違いしない
- ⑧ 時が解決してくれることを待つ
- ⑨ 同じ土俵で戦わない
- ⑩ 批判や失敗から学ぶ

⑥とくに大事なのは①の「いい批判と中傷を見分ける」です。中傷は不当に蔑み、信用や価値を低下させる④コウイですから、タチが悪いといえるでしょう。

この中傷に近い存在が「非難」です。こうして考えてみると、「いい批判」は、自分のためを思っしてくれているということがわかります。

中傷や非難には相手を蹴落とそうという G しかありません。しかし、批判という言葉の意味をきちんと知ることができたいま、あなたの心から、批判されることへの不安や恐怖が消え去っていると思います。

不安や恐怖が取り除かれた状態に慣れてくると今度は、より高いレベルにステップアップするために、批判されることが好ましく思えてくると思います。そういうメンバーに囲まれて対話をしていくと、お互いがお互いを H 状況が生み出せることでしょう。

そうして足りない部分や欠けているポイントを指摘し合って、より完成度が高いものが生み出されます。こうした作業をしているときのメンバーの思いは、相手に対する思いやりにあふれています。そして相手を思うからこそ⑤シンケンに言葉をぶつけます。

「対話」というのは、しんけん言葉を正面からぶつけ合うようなものなのです。

問一 文中①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線④「できればこの単語に出会うシーンは避けたい、誰からも批判されたくない」と同じ意味で使われている言葉を、文中から十一文字で抜き出しなさい。

問三 に最もよく合う言葉を選び、番号で書きなさい。

- 1 肯定すべきもの
- 2 憎むべきもの
- 3 包み込むべきもの
- 4 否定すべきもの
- 5 正すべきもの
- 6 排除すべきもの

問四

に最もよく合う言葉の組合せを選び、番号を書きなさい。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| 6 | ◎ | 批判 | ◎ | 暴露 |
| 5 | ◎ | 批判 | ◎ | 指摘 |
| 4 | ◎ | 批判 | ◎ | 非難 |
| 3 | ◎ | 非難 | ◎ | 暴露 |
| 2 | ◎ | 非難 | ◎ | 指摘 |
| 1 | ◎ | 非難 | ◎ | 批判 |

問五 傍線部分⑥「アドバイス」と、同じ意味で使われている言葉を文中から探して抜き出しなさい。

問六 筆者は、傍線部分⑦「いい批判と中傷を見分ける」ことで、どのような好ましい状態になると述べているでしょう。最もよく当てはまると思う言葉を、文中から三十文字で書き抜きなさい。

問七

に最もよく合う言葉を考え、漢字二文字で書きなさい。

問八

に最もよく合う言葉を選び、番号で書きなさい。

- 1 批判し合う
- 2 深刻に受け止めない
- 3 感情的にならない
- 4 同じ土俵で戦わない
- 5 批判しない

問九 この文章の要旨を、「思いやり」「指摘」「いい批判」という言葉を入れて三十五文字以内で書きなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

気象庁から「梅雨明け」の発表があると、飲料メーカーには問屋や小売りからの発注が急増するそうです。ビールは梅雨明けの発表が早いほど が拡大します。アパレルショップでは梅雨明

けと同時にショートパンツが売れ、家電量販店ではエアコンの売上げが急増します。流通業界において「梅雨明け」の宣伝効果は何よりも大きいのです。

もちろん、梅雨明けという言葉の響きだけでなく、実際の気温上昇も、**㊤** 行動に大きく影響します。「梅雨明け十日」と言い、多くの年は、梅雨が明けるとその後十日間ほどは、晴れて厳しい暑さが続くのです。一般的に、梅雨明けは、太平洋高気圧が強まって本州付近を覆い、梅雨前線を押し上げることで到来します。太平洋高気圧は数週間の周期で強弱を繰り返すため、梅雨が明けると、太平洋高気圧が強まるフェーズ（局面）に入ります。

春から初夏にかけて、気温が上がるほど売上げが伸びていた昇温商品の中でも、梅雨明けを境にさらに売上げが伸びる物と、梅雨明け後は売上げが落ちてしまう物があります。

代表的なものが、かき氷とアイスクリームです。下の図の通り、かき氷、アイスクリームともに、気温が上昇するほど売上げが伸びますが、アイスクリームの変化がなだらかなのに対して、かき氷の売上げは、梅雨が明けると爆発的になり、最高気温三十二度でアイスクリームと逆転します。さらに気温が上がってかき氷の売上げがピークになると、**㊤**アイスクリームの売上げは減少してしまうのです。

株式会社G O S P Aの調査ではインターネットの検索エンジンでの検索数も、「アイスクリーム」は年間を通してなだらかに推移するのに対し、「かき氷」は6月半ばから急増し8月前半に大きなピークが来るそうです。

対し、かき氷は暑い夏だけの物なのです。

春から夏にかけて、体温が上がらないよう減少してきた基礎代謝量は、梅雨が明けて盛夏を迎える頃に最も低くなります。このため夏は、食欲が減衰し、乳成分が高い物や、カロリーの高い物、ボリウムのある食感を、おのずと体や舌が嫌うのです。そのほかにも、梅雨が明けると、冷たいお茶の売上げが急増する代わりにカロリーの野菜ジュースやヨーグルトが売れにくくなります。つるつとしたのと越しの冷やし中華の売上げがピークになるのに対し、食感にボリウムのある冷やしうどんは売上げが落ちていきます。梅雨が明けると、アイスコーヒーの売上増加とともにシュガーシロップの売上げが伸びる一方で、クリームの売上げが減少します。また、暑ければ暑いほど、土用の丑には夏バテ防止にうなぎが売れます。暑過ぎると売上げが落ちる肉類の中でも、ビールのお供、焼き鳥の売上げは上々です。

㊤ 厳しい暑さによる食欲の減衰が、夏の食文化を育んでいるとも言えるでしょう。

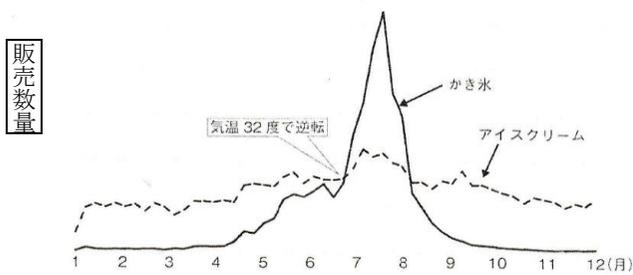
（小越久美著 『かき氷前線予報します』より引用改編）

問一 文脈から考えた時、**㊤** に最もさわしい言葉を漢字二文字で書きなさい。

問二 傍線部分**㊤**「アイスクリームの売上げは減少してしまう」理由としてふさわしいものを二つ選び、番号を書きなさい。

- 1 かき氷は暑い夏だけの嗜好品だが、アイスクリームは一年中食べられるから。
- 2 食欲が減衰し、乳成分が高いアイスクリームは嫌われるから。
- 3 アイスクリームは、食欲が減衰するのを防止する力が弱いから。
- 4 基礎代謝量が最も低くなり、ボリウムとカロリーがあるかき氷が好まれるから。
- 5 基礎代謝量は最も低くなるのに、アイスクリームはカロリーが高く体温が下がりにくいから。
- 6 基礎代謝量が最も低くなり、アイスクリームは体や舌が嫌うから。

〈図〉 アイスクリームとかき氷の販売実数



（関東地方のスーパー複数店舗の集計<2014年~2016年>）

問三

◎

に最もふさわしい言葉を選び、番号を書きなさい。

- 1 昇温商品は夏の間売れる
- 2 昇温商品は気温が上がるほど売り上げが伸びる
- 3 アイスクリームが年中食べられるデザートである
- 4 アイスクリームが夏の期間にたくさん食べられるデザートである
- 5 アイスクリームは年間売上高が最も高いデザートである
- 6 アイスクリームは冬に多く食べられるデザートである

問四 傍線部分④「厳しい暑さによる食欲の減衰が、夏の食文化を育んでいる」とありますが、「食欲

の減衰」と「夏の食文化」にはどのような関係があるか、四十字以内で書きなさい。

問題三 次の問いに答えなさい。

問一 次の各文には、誤って使われている同じ音訓の漢字が一つずつある。誤字を示し、正しい漢字に直しなさい。

- 1 コロナ禍で売り上げが激減し、会社の規模を縮少した。
- 2 私の兄は裁判官を目指して猛勉強している。
- 3 あの選手は新人の時には大活躍したが、その後は泣かず飛ばずだ。
- 4 小柄だが、頭悩的なプレーで観客を魅了した。
- 5 大惨事だったが、寄跡的なことに命が助かった。

問二 次の1～5の熟語の読み方を書き、類義語を□から選んで記号で書きなさい。

- 1 懲戒
- 2 策謀
- 3 卓説
- 4 星霜
- 5 夢中

ア	剌那	イ	不正	ウ	至言	エ	計略	オ	霧中
カ	愚説	キ	光陰	ク	処罰	ケ	安心	コ	傾倒

問三 傍線部分の漢字の送り仮名を()に書きなさい。

かえりみる

1 自分のこれまでの言動をじっくりと顧()。

やわらかだ

2 あの紳士は、礼儀正しいとともに口調が柔()。

たずさわる

3 思わぬことから医療に携() ()ことになった。

おわった

4 コンサートが無事に終()。

つくづく

5 人事を尽() (天命を待つ)。